

長野県介護福祉士会広報誌

# CareWorkしなの



Contents

- 01 佛子園への視察研修旅行
- 03 研修会報告
- 05 地元の押しグルメ
- 06 事務局からのお知らせ
- 07 編集後記

Topics

インタビュー  
畠山仁美さんの熱い想い!

## Study trip

## 佛子園への視察研修旅行

## 地域福祉委員長 ● 半場千恵美

委員会で佛子園への研修旅行を予定した矢先、能登半島地震が起きました。その様子を聞く度に旅行は難しいと感じました。佛子園の専務理事をされる村岡裕さんは本会でも理事を務めておられますが被災地への訪問に迷っている私達の背中を押してくださいました。

7月28日から一泊二日の研修旅行1日目、JR小松駅では佛子園の小松カブーレを見学しました。店内は雑貨や駄菓子など楽しい小物が並べられ興味を引きます。持ち込み自由のフリースペースには学生さんも見えました。スタッフさんは一般の方と障がいをお持ちの方が共に働いておられます。皆さん活気に満ち生き生きとされていました。



JR美川駅へも向かい駅舎内の就労の様子も伺いました。小松市の西圓寺はもともとあった地域のお寺を改装し営業しておられます。白山市の行善寺は大きな施設でプールや保育所もありました。どこも温泉・フィットネス・カフェと休日をゆっくり過ごせるサービスがあり地域と繋がる工夫があり「よりどころ」でした。

2日目の能登はまだ日常に程遠く倒壊した建物や崩落した地面が見られましたが輪島までの「のと里山海道」は上下左右に曲りながらも一本につながっており感心致しました。輪島カブーレではスタッフも被災されながらそこに戻っておられました。青年海外協力協会の堀田様のご体験や輪島カブーレに関わってこられた寺田様が話された今後の課題など伺い、発災から時間が経ち話題にすることが少なくなりましたが何か私達のできることを続けていきたいと感じました。



## Topics

Topics  
01

## 畠山仁美さんの熱い想い!

元長野県介護福祉士会会長の畠山仁美さんにインタビューをしてきました。会を離れてなおそのパワフルさと熱い想いは健在!今回書ききれないものもありますがその情熱が今後の介護福祉士会、ひいては介護職の発展につながればと思います。

## Q1 介護福祉士会入会のきっかけは何ですか?

元々は青森県で看護師、助産師として働いていたのですが夫が長野県の会社に就職したことから、結婚を機に長野県に移ってきました。しばらくは専業主婦として子育てをしていました。その後近くのクリニックで受付事務として働いていましたが、近所の方から社協での仕事を勧められ、家族との時間を大事にしたいこともあり、定時で帰れる社協の試験を受け、入社しました。当時ホームヘルパーとは何をする仕事なのかよくわからないまま現場の先輩方にいろいろ教えていただきながら少しずつ理解を深めていったように思います。

社協に入職した当初から、先輩方に誘っていただき介護福祉士会の研修に参加したこともあり、介護福祉士資格を取得してすぐに入会することを決めました。看護の友人からは「看護師資格があるのになぜ介護福祉士資格に挑戦するの?」と言われましたが、3年間現場経験の中で介護福祉士の専門性について理解できたので、国家試験に挑戦することにしました。その後友人からは「あなたはターミナルケアをやるんだね」と言われ、改めて「そうだったのか」と確信できたことを記憶しています。

介護の仕事をしてみて看護師の時との違いを感じました。緊急性との闘いの時間に追われるのではない、ご利用者と向き合う時間の多さに魅力を感じたことと、親を早くに亡くしていることもあり、両親にはできなかったことをご利用者の皆さんに何かできるのではないかと思う点にやりがいを感じることができました。

## Q2 会長になった時の思いはどうでしたか?

本音を言えばなりたくなかったんです。自分はいくまでサポート役に徹したいと思っていました。それにもっと適任の方もいましたから、いきなり指名され夫にも反対されましたが、断れない性格だったこともあり、1期だけのつもりでお引き受けしました。(なぜか6期もやってしまいましたが…)

## Q3 記憶に残っている介護福祉士会でのエピソードはありますか?

平成19年11月11日「介護の日」の制定の日、キッセイ文化ホールで長谷川和夫先生、鎌田實先生をお迎えして公演を開いたことですかね。

素晴らしい先生2人をお招きして開催できることになった時、運営委員の小池さんから「長野県に風が吹いている」と言われ、「そうか」と思ったのを記憶しています(笑)

話は変わりますが、当時の長野県の福祉や専門職団体は連携・協働体制が出来ていて、「これからの長野県の福祉の為に何をすべきか」などよく意見を交わっていたように思います。団体の代表者皆で、知事に陳情に行ったこともありました。あの頃は本当に熱気がありましたね。「介護の日」の制定、学生への奨学金制度(現在の修学金制度)の復活、今後の人材不足への対応等々、今も大きな課題となっている内容です。

## Q4 これからの介護、介護福祉士会について

私は国家資格を取得したらその職能団体(介護福祉と言う介護福祉士会)に入会するのは当たり前のことと思っています。職能団体はその資格の存在意義や重要性について国や国民に理解してもらえるよう行動し、介護福祉士の社会的地位を上げていくものなのです。そうすることで給料や職場環境の改善につながっていくことになります。後に続く介護福祉士のためにも職能団体が会員増に向け頑張っていかなければ、意見を言うことも反映させる力も弱くなってしまいます。私は死ぬまで会員ですがこれからも外野で見守っていきたいと思っています。頑張ってくださいとおもいます。

## おまけ

会長をやっている時も私の中で1番は家族でした。代わりがきかない存在だと思っています。会議が終わった後食事に誘われた時も「夫が待っているの」と帰ったものです。会長を退いた時、夫に「これまで有難う」と感謝を伝えたとき「よく頑張ったな、お疲れ様」と言葉をかけてもらいました。泣いてしまいましたが、本当に感謝、感謝です!!



## 研修会報告

### 北信支部●山岸裕樹

#### 北信支部研修報告

令和6年5月25日(土)に北信支部総会を行い、記念講演として「これからの介護福祉士に求められる専門力」～笑顔を生科学するアナリストの視点～と題して、神谷典成理事長先生を講師としてお招きし、長野社会ふくし専門学校にて講演会を開催しました。

幸せな気持ちや笑顔と深い関わりがある3種類のホルモンが、セロトニン・オキシトシン・ドーパミンとあり、これらのホルモンを高める支援や声かけを行うことでより良いケアに繋がっていきけるのだと学びました。

セロトニンは、精神安定などの作用があり、太陽の光を浴びる・一定のリズム運動を行うなどで増やせます。

オキシトシンは、安心感や幸福感を得られるなどの作用があり、信頼関係を築きながら褒めたり感謝を伝えた

り、スキンシップを行うことで増やせます。

ドーパミンは、快感を得たり、やる気が出るなどの作用があり楽しいことや、嬉しいことをすると増やせます。

3つのホルモンのバランスを考えながら、利用者の日々の様子を観察し、どのホルモンが足りていないのか、どのような対応をしたら嬉しいと思っていただけたのかをデータとして残し、そこからその利用者に応じた介護過程を導き出せるのではないかと思います。新しい介護の考え方を学ぶことができ参加して良かったなと思いました。



### 中信支部●新村千草

#### 中信支部松本西東合同研修

8月30日(金)「介護カフェ」が行われました。場所は特養ピア山形です。鈴木会長や片倉副会長をはじめ、男女10名の皆さんが出席されました。

#### 感想

「利用者さんとの距離感をどうやってとればいいのか悩んでいたけれども、チームケアで距離感を平等にケアする」回答を皆さんからいただけて良かったです。

中信支部 永井さん

「今回の研修では、男性の方が多く参加して下さって嬉しかったです。」

中信支部 西ブロック長 有賀さん

「参加した研修会のフットケアのこと」「日頃の仕事の苦勞」や、「職員の育成について」、「介護職の魅力を如何に若い方に伝えていくか」「介護職の私たちが楽しく仕事していないと介護職の魅力は伝わらないのではないか」という話が出ました。

楽しんで参加しました。皆さんも「介護カフェ」がありましたら、気軽に参加してみてくださいね。



東信支部●佐々木琴美

## 東信支部ABブロック研修 『介護過程』に参加して

現在特別養護老人ホームでは、個別介護計画書は義務化されておらず自施設でも作成されていません。そのため個別介護計画書を作成したことのない職員が多く、ケアプランと個別介護計画書の違いを理解できていない職員もいます。

『介護過程』について学ぶ機会は何回もありましたが、内容量も多く、他職員へどのような説明をすれば良いのかわかりませんでした。今回の研修に参加し、介護過程のポイントが分かりやすく、自分自身も介護過程について再確認することができました。また、アセスメント能力だけでなく、「ケアの実践を評価できる力が重要」ということを学ぶことができました。

ICFに基づいた情報収集では、マイナス面ばかりに捉われず、利用者のプラス面に目を向けなければならないということを改めて痛感しました。また、施設で勤務している私にとって、生活機能における「活動」と「参加」についての認識が足りないと感じました。

今回の研修に参加し、自分自身の視点を修正し、実践の場で活かしていきたいと思います。そして、自分自身だけの課題とせず、施設で働く職員にも指導できるようになることで、全体のケアの質を上げていければ良いと思いました。



南信支部●中原理恵

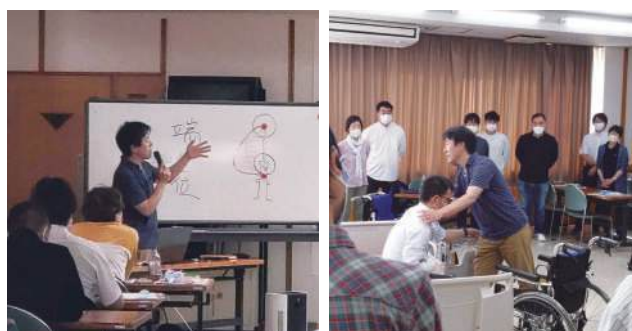
## 南信支部総会 研修報告 『生活行為に勝る訓練なし！ 生活リハビリ研修会』

5月26日(日)飯島町文化館において、南信支部総会研修会が開催されました。

松本リハビリ研究所所長の理学療法士でもある松本健史先生に、京都からお越し頂きその人の生活習慣にリハビリの視点(環境設定や動きを引き出す介護技術)から実技も交えながら講義していただきました。

非会員だけで33名の参加があり、先生の巧みな話術に引き込まれて、充実した研修となりました。介護職だけでなく多職種の方が、自分に関わる職場や利用者さんを

思い描きながら熱心に聞き入りました。【食事・入浴・排泄の場面における実践実演】をテーマとし、日課の中で元気になれる3つのポイント①環境に目を向けよう②姿勢が変われば未来が変わる③力を大切にする介助の極意を学びました。利用者さんが座る時や立ち上がりの場面でどのような環境設定なのか？食事や排泄の時の姿勢はどうか？を再認識し、本人のできる力を引き出す介助方法を活用したいという声が寄せられました。



## Relay talk

## 地元の押しグルメ

北信支部 長野中央ブロック長  
内藤 茉莉奈

豊野町の私の押しグルメは、穂の香というパン屋さんです。元々パン好きでもあり、職場の近くにあるので、夜勤明け等仕事を頑張ったご褒美に利用しています。

パンもちろん美味しいですが、ラスクやプリンも売っていて、ついつい買い過ぎてしまいます。パンも色々な種類が売っているので選ぶのが楽しいです!カレーパンといった定番のパンから季節の食材を使ったパンや変わり種のパンまで色々あります。これを書いていたら、また食べたくなってきました。近々行こうと思います!



## 東信支部 Eブロック長 三石 悟

今回ご紹介する地元の押しグルメは、真田家ゆかりの城下町・上田、中心部の海野(うんの)町商店街の中ほどにある、創業が昭和10年もうすぐ90年にもなる超がつく老舗店。連日とんでもない数のお客さんで賑わうお菓子屋さん「富士アイス」。狙いは看板商品「じまんやき」です。当時は富士屋という屋号でしたが、夏にアイスキャンディーやアイスクリームを売っていたことから、1945年以降は富士アイスとなったそうです。包み紙も素敵で箱のデザインも老舗感を感じます。じまんやきは、外はフワフワで重量感と厚みがあり、皮は薄くて、あんこがたっぷり。店で手作りされている粒あんは小豆の風味が感じられ、甘さは控えめ。ボリュームがあるのにくどくないのがイイっ!カスタードも卵の風味とほどよい甘さが絶妙です!上田に来た際には是非お越しください!

中信支部 安曇野大北ブロック長  
塩原 直子

私の地元・安曇野の押しグルメ!!安曇野市穂高にある「炭火倶楽部 肴(さかな)」です。

こだわりの炭火焼き料理の専門店で、焼いている所を見る事もできます。お店に入ると香ばしい匂いでまずよだれがでます(笑)。お勧めはランチメニューの炭火焼国産牛サーロインステーキ重!柔らかいお肉とおいしい茶碗蒸しやサラダ、小鉢もついてきます。他にも松花堂会席、うなぎ会席等老若男女問わずのメニュー揃いです。私は、県外から来た方やおもてなしをしたい時に夕食時に行きますが、ランチメニューは自分のご褒美に食べに行きます!

安曇野にお越しの際はぜひ食べてみて下さい!!



お店のHPより

## 南信支部 諏訪ブロック長 平野 千恵

富士見町と言えば、赤いルバーブが特産品の一つです。ルバーブはシベリア南部原産の植物です。八ヶ岳の冷涼な気候がルバーブの栽培に適しているようで、特産品として、町をあげて取り組んでいるそうです。酸味が強い野菜ですが、鮮やかな色がきれいで、砂糖との相性が良いため、ジャム、焼き菓子、カレーやドレッシング、まだまだたくさん商品があります。中でも、ルバーブソフトクリームはとても美味しい!です。ルバーブソフトは富士見町の入笠山に行くと食べられます。ゴンドラで山頂カフェまで行って、解放感満点のゲレンデを眺めながら食べるとホントに癒されます。バニラとのミックスも美味しいそうです。皆さんも是非お試しください。



## 長野県介護福祉士会は、訪問介護報酬について 陳情書と意見書を提出します

### 長野県社保協との懇談会から

2025年を目前に控え、介護の現場で必要な人材が不足している状況が深刻化しています。これを解決するためには、介護職の魅力向上や働きやすい環境の整備が求められています。そんな中、今回の報酬改定で、訪問介護の基本報酬が4月から2%以上引き下げられたことに現場での怒り不安の声が広がっています。訪問介護事業所は、規模が小さいほど利益が低く昨年度の倒産、休廃業が過去最多になっています。さらに基本報酬が下げられ事業撤退が増えれば「介護崩壊」を招きかねません。そして、現場職員のモチベーション低下を招き介護人材不足につながります。今回の懇談会で、在宅での課題が明確にされました。職能団体として、「訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」を求める陳情書を県に、意見書を国に長野県社会保障推進協議会と共に提出します。今こそ「声をあげていく」ことが、必要です。

会長 鈴木よし子

### 介護福祉士会会員として懇談に参加して

訪問介護報酬改定をうけ、8月5日ZOOMにて会長をはじめ5名と共に長野県社保協の方々との懇談に参加させていただきました。

6月の報酬改定で、訪問介護は他の介護サービスより利益率が高いとの理由から基本単価が2%程度引き下げられました。しかし、実情は利益が出ているのは一部の高齢者施設に併設している事業所で、在宅を回る訪問介護は7割が経営悪化。倒産件数も過去最多となりました。私たち訪問介護は在宅における高齢者の生活に寄り添いながら、高い専門性と自信をもって働いておりますが、今回の改定は私たちの誇りを傷つけ、更なる人員不足も危惧されます。今回の懇談をうけ、社保協と介護福祉士会で連盟にて訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬改定を求める陳情書と意見書を提出することとなりました。



この活動が実を結び介護の地位、質の向上となることを願います。

諏訪共立ヘルパーステーション  
小松綾

## 『ケア輪久』

### 介護の語り場 YouTubeチャンネル「かいご噺」

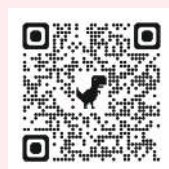
介護の関係者が集まって、介護現場での出来事や伝えたい事等を小噺にして話をしていくという介護のトークチャンネルです。日々の介護のヒントがあるかも。

チャンネル登録を忘れずに!→→



### かいご噺 in 長野 配信される!

8/31に「かいご噺 in 長野」がYouTubeで配信されました。昨年、中野市で開催された「オムツ外し学会」に参加したことが縁となり、長野県介護福祉士会からも会員の2名が「かいご噺」に参加させていただきました。声をかけてくれたのは中野市で訪問介護、相談支援をされている「一般社団法人たむ処」の代表理事、安藤嘉さん。動画の中で、安藤さんの優しく温かい言葉が参加者の緊張を解きほぐし、明日への活力を生み出す空間でした。今回の動画以外にも、介護の小噺を聞くことができる「かいご噺」ぜひ視聴してください。



↑かいご噺in長野  
ご視聴・高評価  
チャンネル登録よろ  
しくお願いします。

## 編集後記

まさか自分がYouTubeに出ることになるとは、夢にも思いませんでした。自分が話をしていたことを思い返してみると…何をしゃべっていたのやら。ですが、参加者の話を聞くほどに、介護の世界の奥深さを感じ、よりたくさん話を聞きたいと思いました。そして学びもあり、互いに分かち合える励みになりました。これからも「楽しい! ためになる!」広報紙になるように精進していきますので、次号もお楽しみに。

東信支部 山本雅史

### 長野県介護福祉士会広報誌「ケアワーク信濃」

Vol.176 (2024年10月号)

発行:公益社団法人 長野県介護福祉士会  
会長:鈴木よし子



<事務局>

〒380-0936 長野県長野市中御所岡田98-1 長野保健福祉事務所庁舎2F  
TEL:026-223-6670 FAX:026-223-6679  
Email:info@kaigo-nagano.jp

